



衣装、小道具から音響までスタッフ自身が手掛けた

北大遺制研

園児対象に地域貢献

スタッフが免疫戦隊を熱演

北大遺伝子病制御研究所(高岡是教所長)は、秋山記念生命科学振興財団と共催、日本免疫学会後援のもと、社会貢献活動の一環として、北区の白楊幼稚園で免疫の仕組みを理解してもらうための劇を開催した。

高岡所長を中心に、研究所スタッフが「まもるんジャー」や「ぼっちいーマン」に変装し、病原体と免疫細胞の戦いをコミカルに表現。用意した顕微鏡で各種病原体や免疫細胞を実際に確認できるコーナーを設けたところ、園児たちは興味津々な様子で、か

わがわが顕微鏡を覗いていた。同研究所では、イベントを通して、子どもたちにミクロの世界を垣間見る機会を提供するとともに、大学が地域社会へ貢献できる新しい窓口を提示したいとしている。